

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名				所管課			消防本部			担当班	総務課消防団班
33800 消防庫整備事業				会計			目			事業種別	
30 消防力の強化				一般			9 1 2			☒ 主な事業 ☒ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業	
59 非常備(消防団)消防体制の充実				消防組織法第18条第2項及び消防力の整備指針			262 消防庫の整備				
戦略事業											

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 年度～ 平成 年度まで	既存の消防庫の内、耐震性に難があり老朽化が顕著な消防庫から改築を進める。消防庫は地域防災において重要な役割を担う消防団の活動拠点となる。 消防庫の建設用地は地元で選定し、民有地の場合は地元区と地権者の間で賃借契約を結ぶ。 市は地元において用意された土地に消防庫を建築する。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・消防団が設置された当時よりある。合併前(海上・飯岡・干潟)の消防庫は地元各区が主体となって消防庫を建てていた(自治体としての関与は補助金の交付)。消防団の活動拠点として市が建築することにより統一した消防庫が建築することができる。	・材料費や燃料価格の高騰、建設業界の人手不足等により、契約金額が年々増加している。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・地域防災の拠点として地元住民からの要望は高い。 ・建設用地の選定が難しい。候補地を見つけても無償貸与の契約を締結できない。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円		26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.設計・監理委託料	756	1,782	2,592	3,618	756	486
2.工事費(消防庫改築)	15,120	11,230	31,862	60,002	15,120	17,885
3.工事費(解体・撤去)	1,300	410	1,026	2,087	1,300	1,702
4.上水道給水申込納付金	108	0	108	216	108	108
5.その他	0	0	60	0	0	0
事業費計(A)		13,422	35,648	65,923	17,284	20,181
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円		26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	2,245		2,657	8,980	2,245	2,245
3.地方債	13,600	12,300	31,200	51,700	13,600	16,100
4.その他	0		1,719	1,828		
一般財源		1,122	72	3,415	1,439	1,836

前年度増減理由	28年度消防庫4棟建築、29年度消防庫1棟建築、2棟解体したため
---------	----------------------------------

従事職員数	常時 2人	最大 3人	× 40日 = 延べ 120人
-------	-------	-------	-----------------

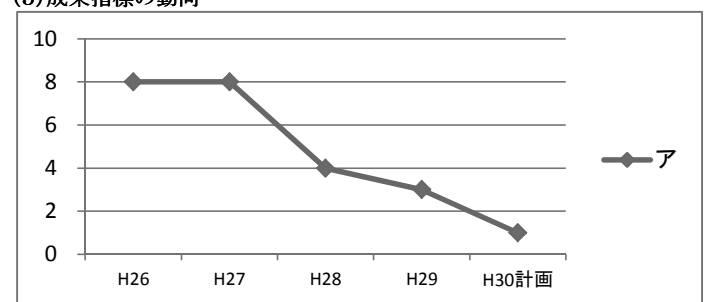
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 消防庫1棟改築 第5中隊第1分団第3部 消防庫解体 第5中隊第1分団第3部1班、第3分団第2部消防庫		ア 改築消防庫棟数	棟	1(繰越)	2(繰越)	4	1	1
			イ 解体・撤去消防庫棟数	棟	1	1	4	2	2
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象 ・消防庫 意図 計画的に更新を行なう。 対象意図		ア 築30年以上経過し老朽化等に伴い改築が必要とされる消防庫数	棟	8	8	4	3	1
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③	(2)		
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	成果動向
		・消防庫1棟の完成 ・改築、班統合による老朽化し未使用の消防庫2棟の解体			☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	計画的に改築していく